

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所独自の理念を、スタッフが集まる玄関・事務所に掲示し実践につなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣の方との挨拶や美容室利用など日常的に交流している。茨城県地域密着型サービス協議会認定認知症地域サポート相談窓口を設置して相談業務を行っている。地域の小学校「こどもを守る110番の家」を委嘱されている。	地域の方より、緊急時にAEDを貸出してほしいとの意見があった。事業所としてAEDを1台所有しており、いつでも貸出できることをお伝えする。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヶ月に1回運営会議を開催している。会議において運営委員、施設代表者、スタッフ間と意見交換した内容をケア会議において報告し利用者支援に取り入れ参考にしている。	運営推進会議の資料をファイリングして、毎回議事録を職員で回覧していると説明した。運営推進会議では地域の方との様々な意見交換ができています。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢福祉課の職員さんに運営推進会議のメンバーになっていただき、事業所内の実情について定期的に報告を行っている。また、市からの要請や地域の課題に対して柔軟に対応できるように顔の見える関係性を築いている。	高齢福祉課の職員さんより、密な連絡が取り合えており、顔の見える関係性を作れているとの意見をいただいた。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. できている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束マニュアルを作成して周知努めている。身体拘束についての施設内研修を実施している。玄関は緊急やむを得ない状況の時は施錠。出入りをチャイムで確認している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常業務に於いて常にマニュアルを作成し防止には努めている、社会福祉協議会の出前研修を活用し職員への教育を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度を利用している方もおり、どのような制度であるか理解しており、その内容について他の職員が学ぶ機会を定期的に設けている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約は管理者や介護支援専門員等が手続き文書をもって説明している。ご本人、ご家族が十分に納得され安心して入居して頂けるよう対応に努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の方には日々の暮らしの中で、ご家族には面会時に相談・ご意見・要望を伺い対応している。ご家族からの要望等はユニット会議・ケア会議・朝夕の申し送り、送りノート等で速やかに意見交換して反映させるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内での定期的な会議を行い、本部職員参加や議事録の回覧を行っている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアアップやスキルアップ研修等の情報提供や必要に応じて研修参加支援を行っている。代表者はキャリア段位制度の運営体制を確立している為、モチベーションアップに努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護福祉士を中心として指導者研修を行い、根拠ある介護マニュアルに基づくケアの統一化を図る研修を行い、今後マニュアル作成しOJTによる職員育成を実施していく取り組みを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	11月より日立市の法人と連携し人材育成プログラムの研修を合同で行っている。6回の研修プログラムを土浦会場と日立会場で研修グル			

				ープを分けて両法人の職員が一緒に研修を受けている。			
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の意欲、意向等を尊重しながら家事活動など得意なこと、できる事を協力していただいている。			
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ前は家族と自宅へ一時帰宅したり食事へ出かけることもあったが、感染症対策によりできなくなってしまっている。Zoom 面会や青空面会などの機会を作っている。	青空面会をしている様子を写真で見ただけいたり、入所直後の不安軽減の為、海外に居る家族とアレクサを使って連絡している様子を説明させていただいた。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴やその方がそれまでにしてきた社会参加や活動について把握できるよう本人から聞き取りを行うことはもちろん、ご家族からも情報を得るようにしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的にケア会議等で個々の状況把握に努め、日頃から情報収集・共有し、ケアプランに反映するよう心掛けている。ご家族様にも、思いや意見の聞き取りを意識して行っている。	モニタリングに関して現在はケアマネジャーが主に行っている。職員にも担当利用者ごとにモニタリングに参加してもらうことで、ケアプランの把握ができるのではとのご意見をいただいた。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日、個人記録に目を通し、本人のその日の様子、状態等読み取り話し合い、実践に活かし、計画にも反映している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共用型デイサービスの受け入れを行っており、入居前から本人と他の利用者、職員となじみの関係を作ることができる。看取りの際は家族が居室にて仮眠をとったりなるべく一緒に過ごせる時間を長くとれるようにしている。	実例として、小多機の利用者が主介護者が緊急入院で不在になってしまったため本人を緊急で1か月間短期利用で受け入れを行い、その後小多機のサービスに戻られたとの説明を行い、事業所として包括的にサポートしていることを伝えた。		

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で制限はあるが、定期的なボランティアの方々の来訪、近所の美容院でのカット等の利用により、顔見知りとなり散歩時など外に行った時にも声をかけてもらっている。	ご近所の方々には気持ちよく挨拶していただき、関わりに協力していただいていることへの感謝を伝える。ボランティアのイベント時の写真を見ていただき、コロナ禍でも社会との繋がりを大切にしていることを伝えた。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前のかかりつけ医を入居後も継続できるようになっている。本人の状態により、通院が困難、または、ご家族様での対応が難しく施設での対応を希望された場合等は相談の上往診や近隣の医療機関に変更等し、適切に医療が受けられるよう支援している			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時はフェイスシートやサマリーなどを入院先へ持参し、担当看護師や主治医などと連携を取り適宜に対応できるよう努めている。また、退院支援に向けてケアマネや管理者等が情報収集に努め、できるだけ病院に出向き状況を確認するようにしている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した場合について、ご家族からの希望を伺った上で主治医、施設長、管理者、職員間で話し合いをしている。その後も重度化が進んだことを想定して主治医、訪問看護、提携の理学療法士、施設長、全職員を交えてカンファレンスを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問看護ステーションと契約しており、24時間対応となっていて、急変時はすぐ訪問し、バイタルなど状態を確認し、主治医に報告、指示を仰ぐ体制となっている。救命救急訓練等は定期的に行っていない。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回防災訓練を実施している。そのうち1回は消防署員に来てもらい消火訓練も実施している。	大規模災害等のマニュアルは職員が閲覧できる所に掲示することが望ましい。職員全員がマニュアルを周知し、速やかに避難できるように情報管理をすること。また、職員の連絡網についても通報訓練を行った方が良いとご指摘をいただく。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1人ひとりの性格や生活歴などを把握した上で、言葉にできない方に対して、行動や、表情、顔色等で何を望んでいるか何をしたのかを見極め、タイミングや言葉使いに注意して対応している。トイレや着替え、入浴介助などではプライバシーに注意して対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のレクリエーションは利用者の希望を取り入れ場合によっては入浴時間や食事の時間を変更するなど、臨機応変な対応を行っている。また、散歩に行きたいと希望があった場合は、特に何も無い限りその都度対応するようにしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節の野菜と一緒に収穫したり野菜の皮むきなどの下ごしらえや食器洗いなどの手伝いをしてもらうなど役割を持ってもらいながら、食事が楽しめるよう支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に食べた量や摂取した水分を個人記録に記入している。水分で咽る方にはトロミをつけたり、義歯のない方などには一口大などに刻んだり個々の状態に合わせて提供し、栄養や水分が確保できるよう支援している。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食後に声掛けし、準備だけが必要な方、介助も必要な方等、個々に合った口腔ケアを行っている。定期的に訪問歯科診療を利用されている方もいる。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	各職員が排泄パターンを把握できるよう、個人記録の排泄チェック表へ記入し、チェック表確認しながら個々ADLに合わせ、トイレの声掛け、誘導をトイレで排泄ができるよう支援している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入浴チェック表を確認しながら個々の体調やペースに合わせ、声掛けし本人の意思を確認した上で促している。季節に合わせてゆず湯や菖蒲湯、入浴剤を入れ楽しんでもらえるよう工夫している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今までの生活習慣やその人その人の生活リズムを把握、尊重し、体調など見ながら支援している。眠りスキヤンを8台導入しており、睡眠リズムを把握したり無駄な訪室をせず、覚醒時にトイレ誘導やおむつ替えを行うことで安眠を妨げない取り組みを行っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬の情報は専用ファイルに綴じいつでも確認できるようになっている。また、変更などあった場合は申送りノートや個人記録に記載し全職員が周知し、服薬により症状に変化が見られた場合は記録するよう努めている。服薬時は必ず口の中に入れ飲み込めたことを確認している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ゴミ捨て当番 食器洗いやテーブル拭き、居室などの床モップ掛けなど、個々に合った役割を持ってもらい、嗜好品(コーヒーやおかし等)がある方には本人希望時に提供するなどして、気分転換してもらい、楽しんでもらっている。	職員と一緒に家事を行っている生活の様子を写真で見せていただき、役割をもつことで充実感を感じられている様子を説明させていただいた。また晩酌が習慣の方にはノンアルコールビールを提供したり、訪問マッサージを受けている方など一人一人に合わせた対応を行っていると伝えた。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナの影響で外出行事、地域の催物への参加は減少しているが、敷地内の畑や近隣への散歩は積極的に行っている。鯉のぼりや花見ドライブなど他者との接触が少ない行事を計画し、定期的に外出できるよう支援している。	コロナ禍で制限はあるが、ドライブに出かけたり近隣の散歩などで気分転換していただいている様子を写真で見させていただいた。外出については今後感染状況を見ながら計画を立てていく。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ハンドバックや財布を自己管理したいと希望される場合は、防犯上のリスクを説明し、貴重品預かりとして本人の同意を得て事務所管理させていただいているが、少額であれば所持していただくことを許可している。本人の要望に応じて返却し、外出や買い物の際に自分で支払いを行えるようにしている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	携帯電話を所持している方もおり、毎朝ご家族様よりかかってくるため取り次いで話ができるよう支援している。また、本人がかきたいとの要望があった場合のために前もって電話をしてよい時間帯を確認しておき、対応できるようにしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食堂の他に、共有の談話室やフリースペース『神楽の間』があり、両ユニットが集まって体操を行ったり、憩いの場となっている。季節に合わせた貼り絵などを作成し、壁面に飾り付けをしたり、庭に		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

		人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている		咲いている花を談話室に飾ったりしている。			
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	生活歴、趣味等を参考にし、その方が何を望むのかを表情や行動等参考にしながら快適に生活して頂けるよう努めている。ご家族、スタッフ間で話し合いを重ねている。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今までの生活習慣やその人その人の生活リズムを把握、尊重し、体調など見ながら支援している。また、夜間なかなか眠れないよう時にはホットミルク、ホットココア等を提供したり、傾聴して安心して眠れるよう支援している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	バイタルチェックやご本人の様子を観察して個人記録に記載して、スタッフ全員で記録を確認することで情報を共有している。朝・夕の申し送りで変化のある時は申し伝えている。特変があった場合は看護師に連絡し相談している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	1人ひとりの性格や生活歴などを把握した上で、言葉にできない方に対しても、行動や、表情、顔色等で何を望んでいるか何をしたいのを見極め、タイミングや言葉使いに注意して対応している。トイレや着替え、入浴介助などではプライバシーに注意をして対応している。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使用していたベッドや家具を持参して頂いたり、ご家族の写真、愛用の身の回りの物を居室内に持ち込み飾っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩に行きたいと希望があった場合は、特に何も無い限りその都度対応できるようにしている。墓参りなど感染リスクに低い環境での外出希望はできるだけ叶えるようにしている。感染状況を見ながら屋外での活動を検討している。	家族との面会時犬の散歩をしている写真等見ていただく。状況を見ながら、コロナ禍でもできることを増やしていけるようにしていきたい。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の能力を見極め、得意なことや苦手なことを把握するよう努めている。家事のお手伝いやレクリエーションに反映させ、できることを継続させることで自信を持っていただけるようにしている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気の合う利用者様同士で会話ができるよう席に配慮している。他者とのコミュニケーションの難しくなった利用者は職員が間に入り、活動に参加したり会話の輪に入れるようサポートしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため積極的な関りは持っていないが、散歩など外に出掛けた際に地域の住民と挨拶や会話を楽しむことは続けている。また、交流の場には参加できなかったが、イベントに手作りの小物をプレゼントしたり間接的な参加を行っている。	利用者と一緒に回覧板を近所に届けたり徐々に近隣との関りを取り戻してきている。感染状況を見ながら、感染予防を講じた上での受け入れ等緩和の方向で進めていく。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるできている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家庭的な雰囲気のあるホームで過ごしながらか散歩等で近隣住民との関りもあり、地域に溶け込みながら生活を送れるよう心掛けている。職員や利用者との馴染みの関係を築くことで安心感を持ちながら、自分らしく暮らせるよう支援している。	運営推進会議に参加していたご家族様より、「自分だけでなく家族全員含めて安心して任すことができ感謝している。」「入所してから明るくなり笑顔が増えた。」とのお言葉をいただく。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

